

講義コード	11C0101004	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	英語リスニング2D				小長谷 マサエ		第2期		
履修前条件					備考				
授業の目的	主にリスニングを中心に学習し、併せてライティングとスピーキング技能も養う。(リーディングは基礎的補足的には扱う。) 年々国際化する社会の中で、外国人の人々と英語でコミュニケーションをとる機会が増えつつあるため、日常会話に使用される様々な表現方法、会話やアナウンスのリスニングとスピーキング、プレゼンテーションスキルなどのコミュニケーション全般にかかわる能力を伸ばすことを目標とする。そのために、英語リスニング1より一歩進んだレベルの訓練を行う。この訓練によって、結果的に TOEIC のリスニング・セクションのスコアを伸ばす効果を引き出すことを目指す。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語リスニング1より進んだレベルの会話やアナウンスの概略を理解できる。</li> <li>2. 英語リスニング1より進んだレベルのディクテーションができる。</li> <li>3. 聞き取った内容について、より豊富な語彙や文法を用いて、意見やコメントを述べたり、書いたりすることができる。</li> <li>4. 自然な英語の発話リズムを身につける。</li> <li>5. TOEIC のリスニング・セクションの問題形式を熟知し、より難易度の高い問題も理解できるようになる。</li> </ol>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の授業に向けて教科書等を読み、理解する。</li> <li>2. 担当講師から与えられた課題を行う。</li> <li>3. 単語等、前回学習した内容を復習する。</li> <li>4. 大学の WebClass が提供する e-learning を活用する。</li> <li>5. テレビ、ラジオなどの語学講座や、インターネット上の英語関連サイト、参考書等を有効に使う。</li> </ol> 上記を15時間以上行うこと。								
授業計画	<b>【第1回】～【第15回】</b> ①リスニングの応用的テクニックを習得する。それに伴い、スピーキング、ライティングの応用能力も適宜習得する。 ② TOEIC のリスニング・セクションの問題に慣れ、より難易度の高い問題も解けるように訓練する。								
成績評価の方法	期末、小テスト等の各種テスト (60%)、授業への参加態度 (40%)								
フィードバックの内容									
教科書	各担当講師の指示に従う。								
指定図書	『TOEIC 新公式問題集 Vol. 6』 Educational Testing Service (著), 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会 (編集) (国際ビジネスコミュニケーション協会) 2014年								
参考書									
教員からのお知らせ	①教科書や辞書は担当の先生の指示に従ってください。 ②大学の e-learning を積極的に活用してください。TOEIC の e-learning を利用した場合の評価基準は、各担当の先生に確認してください。 ③ TOEIC 団体試験 (9月末～10月始め) の結果は担当教員に提出され、成績評価に加味されます。入学から10月までに行われる TOEIC 試験で、各自の TOEIC スコア最高値が、経済学部で上位50位程度に入る場合、2年生から始まる English Intensive Class (EIC) に加入することができます。EIC に加入すると、TOEIC のスコアを伸ばし、英語運用能力全般を伸ばす EIC 限定授業を履修することができます。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									